

取扱説明書



BS-GSL2005P, BS-GSL2008P

本製品は電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルーターなどを経由し接続してください。

パッケージ内容

本製品には、以下のものが同梱されています。

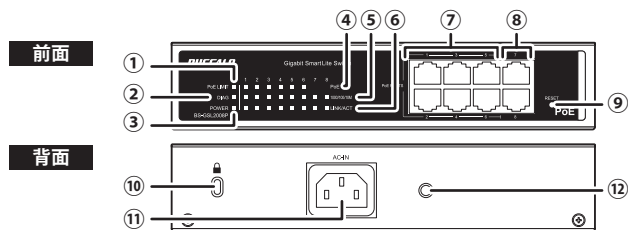
- | | |
|---|---|
| ☐ スイッチ（本製品）..... 1 台 | ☐ ゴム足 4 個 |
| ☐ 電源ケーブル 1 本 | ☐ BIJ-RMK-1U 用ネジ 4 本 |
| ☐ 3 ピン-2 ピン変換コネクタ（アース線付き）..... 1 個 | ☐ シリアル No シール 2 枚 |
| ☐ 電源ケーブル抜け防止バンド..... 1 個 | ☒ 取扱説明書（本書）..... 1 枚 |
| | ☐ 安全にお使いいただくために必ずお守りください（保証書付き）..... 1 枚 |

※本製品の保証書は、本製品の修理をご依頼いただく場合に必要となりますので、大切に保管してください。

※追加情報が別紙で添付されている場合は、必ず参照してください。

※本製品に付属の部品（ゴム足、ネジなど）は、個別で販売していません。誤って廃棄したり、紛失したりしないよう、お気を付けください。

各部の名称とはたらき



※図は BS-GSL2008P の例です。

※製品情報（製品名やシリアル番号など）が記載されたラベルは本製品の底面に貼り付けられています。

①PoE LIMIT ランプ

点灯（橙）：PoE 電源の電力使用量の合計が 34 W 以上になっています。
点滅（橙）：PoE 電源の電力使用量の合計が最大給電能力の 60 W 以上になったため、一部のポートの給電を停止しています。（ポート番号の大きいポートから給電を停止します。）不要な機器を取り外したり、他の PoE 給電機器に接続するなど、ネットワーク構成を見直してください。
消灯：PoE 電源の電力使用量の合計が 34 W 未満または PoE 給電をしていません。

②DIAG ランプ

点灯（赤）：起動中、自己診断または初期化の実行中
1 秒間に複数回点滅（赤）：起動時にエラーが発生しました。電源ケーブルを抜き差ししてください。赤色点滅が続く場合は、当社修理センターに修理をお申し込みください。修理のお申し込みについては、別紙「安全にお使いいただくために必ずお守りください」の「製品に関するお問い合わせについて」に記載されているホームページからご確認ください。
1 秒間隔で点滅（赤）：ループ検知時
消灯：通常状態

③POWER ランプ

点灯（緑）：電源がオンの状態
消灯：電源がオフの状態

④PoE ランプ

点灯（緑）：PoE 給電中
点灯（橙）：負荷が最大給電能力を超えたとき、または回路の短絡を検出したとき
消灯：PoE 非給電時

⑤1000/100/10M ランプ

点灯（緑）：1000 M リンク確立時
1 秒間隔で点滅（緑）：ループ検知時
消灯：100 M、10 M リンク確立時、またはリンク未確立時

⑥LINK/ACT ランプ

点灯（緑）：リンク確立時
点滅（緑）：データ送受信時
1 秒間隔で点滅（緑）：ループ検知時
消灯：リンク未確立時

⑦PoE ポート

PoE 給電に対応した、1000BASE-T/ 100BASE-TX/ 10BASE-T ポートです。給電が必要なネットワーク機器を接続します。1 ポートあたり最大 30 W、すべての PoE ポートの合計で最大 60 W まで給電できます。機器を接続するときは、ポート番号の小さいポートから接続してください。PoE 電源の電力使用量が最大給電能力の 60 W を超えたとき、ポート番号の大きい順に給電が停止します。通信速度は自動的に認識されます。

⑧アップリンクポート

他のハブやスイッチを接続する、1000BASE-T/ 100BASE-TX/ 10BASE-T ポートです。通信速度は自動的に認識されます。PoE 給電には非対応です。

⑨RESET ボタン

本製品の電源を入れた状態で、DIAG ランプが赤く点灯するまで（約 3 秒間）ボタンを押し続けると、本製品の設定が出荷時の状態に戻ります。

⑩盗難防止用セキュリティスロット

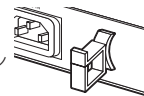
市販のワイヤーロックなどで固定できます。

⑪AC 端子

付属の電源ケーブルを接続します。

⑫電源ケーブル抜け防止バンド取り付け穴

付属の電源ケーブル抜け防止バンドを取り付け、ケーブルを引っかけることで、ケーブルの抜けを防止できます。



1、ビジネススイッチ設定ツールをインストールする

ビジネススイッチ設定ツールを使用すると、簡単に設定画面にアクセスできます。

- ① インターネットに接続している管理者/パソコン（Windows）から下記 URL にアクセスし、「ビジネススイッチ設定ツール」をダウンロードします。

BS-GSL2005P : <http://d.buffalo.jp/bs-gsl2005p/>
BS-GSL2008P : <http://d.buffalo.jp/bs-gsl2008p/>

- ② ダウンロードしたファイルをダブルクリックし、以降は画面に従ってインストールします。
※インストールの画面が表示されない場合は、解凍したフォルダー内の「BSSet2_Setup.exe」をダブルクリックすることで表示できます。

2、スイッチを設置する

※本製品はコンセントの近くに設置し、コンセントから電源ケーブルを簡単に取り外せるよう設置してください。液体や異物などが本製品の内部に入ってしまったたり、煙が出たり、異臭、異音が出たら、すぐにコンセントから電源ケーブルを抜いてください。

- ① 本製品を設置する場所を決め、以下の手順に従って設置します。

■平らな場所に設置する場合

本製品底面に付属のゴム足 4 個を取り付けて設置してください。

- 【注意】**
- ・コンセントに近い平らな場所に本製品を置き、本製品の周囲に通気のためのスペースを 5 cm 以上確保します。
 - ・本製品の上に、他の機器や発熱するものを置かないでください。

■スチール製デスクの側面に設置する場合

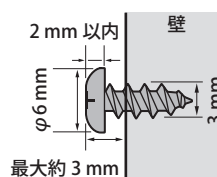
本製品底面の四隅に、別売のマグネットキット「BS-MGK-A」（Φ17×H 3mm のマグネット 4 個）を取り付けて設置してください。非スチール素材に設置する場合は、別売のマグネット取り付け用金具「LSW-KG5P」をご使用ください。
マグネット取り付け時には、付属のゴム足も貼り付けてください。

- 【※モ】** 本製品の重みで位置ずれが発生しても落下しないよう、床に接する平らな側面に設置することをおすすめします。

■壁に設置する場合

壁に下記のような市販のネジ 2 本を 100.2 mm の間隔で固定し、ネジ頭が壁から約 3 mm 飛び出した状態にしてから、本製品底面の壁掛け穴を引っ掛けてください。

- 【※モ】**
- ・ネジの長さは、取り付ける壁の材質や厚みに合わせて調整してください。
 - ・ネジの間隔は、うら面右側に記載しています。記載の間隔に合わせて、ネジを固定してください。
 - ・付属のネジは壁掛け用ではありません。壁への設置に使用しないでください。



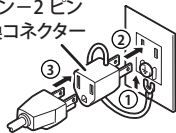
■19 インチラックに設置する場合

別売の 19 インチラックマウントキット「BIJ-RMK-1U」と、付属の BIJ-RMK-1U 用ネジを使用して設置してください。

- 【注意】**
- ・ラック内の温度は室温より高くなりやすいため、ラック環境の温度が指定された動作温度範囲であることを確認してください。
 - ・ラックに取り付けた機器の上に他の機器を積み重ねないでください。
 - ・ラックに電力を供給する回路が過負荷にならないようにしてください。
 - ・ラックに取り付けた機器は、適切にアースしてください。

▶▶ うら面に続く

- ② 付属の電源ケーブルを、本製品およびコンセントに接続します。
- △注意** コンセントが2ピンの場合、付属の3ピン→2ピン変換コネクタを使って接続します。感電防止のため、アース線は必ず接地してください。接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行って下さい。順序を守らないと感電の原因となります。アース線は、コンセントや他の電極に接触しないようにしてください。



- ③ 前面パネルの POWER ランプが点灯していることを確認します。

3、設定画面を表示する

本製品の設定画面にアクセスすると、本製品の設定変更や状態の確認ができます。

- ① LAN ケーブル（別売）で、本製品を管理者パソコンおよび既存のネットワーク環境（社内ネットワーク）に接続します。ケーブルを接続したポートの LINK/ACT ランプが点灯することを確認します。

- ② 管理者パソコンのデスクトップ上の「ビジネススイッチ設定ツール」() をダブルクリックします。

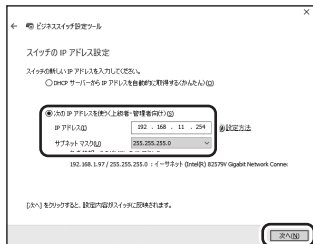
- ③ [次へ] をクリックして、スイッチの検索を開始します。

- ④ 本製品を選択して、[次へ] をクリックします。



- ⑤ [このスイッチの IP アドレスを設定する] をクリックします。

- ⑥ 管理者パソコンの IP アドレスと同じセグメントになるように、本製品の IP アドレスを設定し、[次へ] をクリックします。パスワード入力画面が表示されたら、「password」（小文字）を入力して [次へ] をクリックします。



- ⑦ [スイッチ選択画面に戻る] をクリックした後、もう一度本製品を選択し、[次へ]—[設定画面を開く] をクリックします。

- ⑧ [OK] をクリックするとブラウザーが起動し、ログイン画面が表示されます。ユーザー名に「admin」（小文字）、パスワードに「password」（小文字）を入力して、[ログイン] をクリックします。

※ユーザー名およびパスワードは、設定画面で変更できます。必ず変更してください。

- ⑨ 本製品の設定画面が表示されます。おもて面「1、ビジネススイッチ設定ツールをインストールする」に記載の URL に掲載されている「ユーザーマニュアル」を参照して、各種設定を行ってください。

仕様 / 出荷時の設定

仕様

LAN インターフェース	IEEE 802.3ab (1000BASE-T)、IEEE 802.3u (100BASE-TX)、IEEE 802.3 (10BASE-T)、IEEE802.3az (EEE)、IEEE 802.1Q (VLANs)、IEEE 802.3x (Flow Control)、IEEE 802.3af (PoE)、IEEE 802.3at(PoE+)
ポート数	<BS-GSL2005P> PoE ポート：4、アップリンクポート：1 <BS-GSL2008P> PoE ポート：6、アップリンクポート：2 ※全ポート Auto MDI/MDI-X 機能対応
適合ケーブル	カテゴリ 5e 以上 4 対 UTP ケーブル (1000BASE-T)、カテゴリ 5 以上 2 対 UTP ケーブル (100BASE-TX)、カテゴリ 3 以上 2 対 UTP ケーブル (10BASE-T) ※PoE 給電機器を接続する場合は、必ずカテゴリ 5e 以上の 4 対 UTP ケーブルをご使用ください。
コネクタ形状	RJ-45 型 8 極コネクタ (シールドタイプ)
電源電圧	AC 100V 50/60Hz
消費電力	BS-GSL2005P：最大 73 W BS-GSL2008P：最大 76 W
外形寸法	W200 x H41 x D161 mm
重量	1.3 kg
動作環境	温度：0 ~ 50 °C 湿度：10 ~ 85 %（結露しないこと）
適合規格	<BS-GSL2005P> VCCI Class A, FCC Class A, Canada IC Class A, UL, CE, CB <BS-GSL2008P> VCCI Class A, FCC Class A, Canada IC Class A
伝送速度	1000 Mbps、100 Mbps、10 Mbps
スイッチングデータ転送方式	ストア&フォワード
Jumbo フレーム	9,216 Bytes ※ヘッダー 14 Bytes + FCS 4 Bytes 含む
伝送路符号化方式	8B1Q4/4D-PAM5 (1000BASE-T) 4B5B/MLT-3 (100BASE-TX) Manchester encoding (10BASE-T)
アクセス方式	CSMA/CD
データ転送速度 (スループット)	1,488,095 パケット/s (1000BASE-T) 148,810 パケット/s (100BASE-TX) 14,881 パケット/s (10BASE-T)
MAC アドレステーブル	BS-GSL2005P：約 2,000 件 BS-GSL2008P：約 4,000 件 (セルフラーニング)
バッファ容量	128 KBytes
エージング時間	約 300 秒
伝送距離	最大 100 m
PoE 給電機能	1 ポートあたり 30 W、合計最大 60 W PoE 給電方式：Alternative A

出荷時の設定

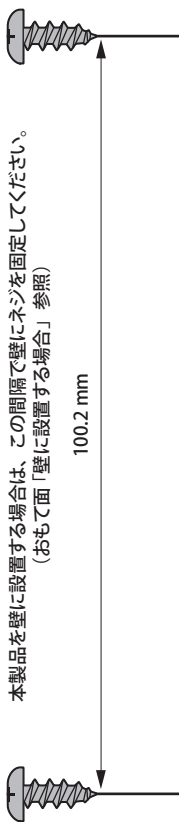
スイッチ名	BS + 本製品の MAC アドレス
IP アドレス	192.168.1.254
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
ユーザー名 / パスワード	admin/password

- 本書の著作権は当社に帰属します。本書の一部または全部を当社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられております。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では、™、®、©などのマークは記載していません。
- 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があります。現に購入された製品とは一部異なる場合があります。



本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。
この製品内部には危険電圧を発生し得る箇所があり、感電の恐れがあります。

本製品内部からの放熱により、製品の温度が高くなる場合があります。
使用中や使用直後に本製品に触れるときは、ご注意ください。



本製品を壁に設置する場合は、この間隔で壁にネジを固定してください。
(おもて面「壁に設置する場合」参照)

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

万一、障害が発生したときは次の対策を行ってください。

- ・本製品とテレビやラジオの距離を離してみる。
- ・本製品とテレビやラジオの向きを変えてみる。